

令和5年度東京都立高島高等学校学校運営連絡協議会報告書

1. 組織

(1) 東京都立高島高等学校学校運営連絡協議会（全日制課程）

(2) 内部委員の構成

校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭2名、主任教諭2名（教務担当主任、生活指導担当主任、進路指導担当主任、総務担当主任）、計7名

(3) 協議委員の構成

学識経験者（私立高等学校長、元都立高等学校長）、PTA会長、同窓会長、板橋区立高島第三中学校長、高島平新聞社会長、高島平三丁目自治会副会長、高島平警察署生活安全課長、志村消防署高島平出張所長、計9名

2. 令和5年度学校運営連絡協議会の概要

(1) 学校運営連絡協議会（第1回～3回）の開催日時、出席者、内容、その他

①第1回

令和5年6月23日（金） 15:30～ 大会議室

内部委員7名、協議委員7名 欠席2名

- (a) 学校長挨拶
- (b) 協議委員、評価委員の委嘱、紹介
- (c) 学校概要説明
 - ・学校経営方針について
 - ・昨年度の反省
- (d) 協議、意見交換
 - ・本校の特色についての協議や意見交換
 - ・本校の課題についての協議や意見交換
 - ・進路決定状況について
- (e) 今後の予定について
 - ・第2回は11月10日（金）に実施予定

②第2回

令和5年11月10日（金） 15:30～ 大会議室

内部委員7名、協議委員7名 欠席2名

- (a) 学校長挨拶
- (b) 学校概要説明
 - ・各分掌の取組目標及び中間のまとめ
- (c) 協議、意見交換
 - ・本校の特色についての協議や意見交換
 - ・本校の課題についての協議や意見交換
 - ・進路決定状況について
- (d) 今後の予定について

- ・第3回は2月9日（金）に実施予定

③第3回

令和6年2月9日（金） 15:30～ 大会議室

内部委員7名、協議委員7名 欠席2名

- (a) 学校長挨拶
- (b) アンケート結果説明
学校運営連絡協議会による学校評価
- (c) 学校概要説明
 - ・各分掌の今年度の取組成果と課題及び来年度に向けて
- (d) 協議、意見交換
 - ・本校の特色についての協議や意見交換
 - ・本校の課題についての協議や意見交換
 - ・進路決定状況について

3. 学校運営連絡協議会による学校評価

(1) 学校評価の観点

- ・これまでと比較をして本校の課題を見出すための学校評価アンケートになるよう、原則として昨年と同じ質問項目、学習面の課題と学校経営計画に関連する内容にして実施した。

(2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

- ・12月実施 () 内は昨年度
- ・対象 生徒：回収率 98% (98)
保護者：回収率 36% (34)
教職員：回収率 100% (100)
地域：回収率 約200世帯に配布、28名より回答 (74)
中学校：回答 13校 (10)

(3) 主な評価項目（例年と同じ）

- ・学習活動について
- ・授業満足度
- ・けじめと切換え
- ・キャリア教育

(4) 評価結果の概要と考察

<概要>

- ・生徒の回収率は98%であった。保護者の回収率は昨年度の34%から36%に少し増加したが回答数に課題を残した。このことは、集計業務の効率化を図るため、1昨年からマイクロソフト **FORMS** をアンケートに使用したが、保護者への周知がまだまだ不十分なことが原因と考えられる。また、回答は無記名であるが、今後、保護者がもっと学校に関心を持ち、前向きにアンケート実施に向けて協力してもらえるような工夫が必要だと課題を残した。一方で教職員の回収率が2年連続10

0%になったが、来年度以降も継続が不可欠である。今後も生徒教職員に対してはFORMS アンケート機能を活用していくが、保護者に対するアンケートの実施・回収方法については検討の余地が必要である。

- ・近隣中学教員からのアンケートは、一昨年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止したが、昨年度に続き、今年度は13校実施した。
- ・地域向けについては、近隣の団地自治会長と相談の上、部活動生徒によるポスティングで家庭へ配布した。

<考察>

- ・生徒全体の約77%が入学してよかったと回答している。一昨年度の85%、昨年度の81%からだんだん減少している。コロナ禍で学校生活を満足に遅れなかったことの影響が残っていると考えられるが、より丁寧な生徒指導を実施していく必要がある。一方で、保護者は92%がよかったと回答しており、昨年度の70%から22%増えた。本校の生徒指導等、学校への信頼度が増した結果であり、今後も推移を見守る必要があるが、原則として現在の高島の生活指導を継続していくことが大切である。
- ・全校生徒の75%が学校は「安心、安全、平和」と回答している。保護者は88%と昨年に続き生徒より上回っている。この項目は昨年度からの新しい項目であるため今後も推移を見守りたい。コロナ禍が落ち着いた1年ではあったが生徒より保護者の満足度は高かった。今後はより安心安全な学校を目指して学校運営を継続していく。
- ・1日の学習時間については5割の生徒が30分未満と回答している。昨年度より学習時間はやや減少しているが、今後は予習復習を促したり宿題を工夫したりするなど学習時間の一層の増加を図っていく。
- ・授業満足度は78%で、昨年度74%から少し増えている。各教科で授業の工夫や、教員による授業相互参観の実施によって授業力の向上を目指しているが、まだまだ努力が必要だと考える。一方で、生徒の実態に即した授業の実施が大前提ではあるが、授業難易度の向上も必要と考える。今後教科主任会を中心に教科指導のより一層の充実を図ることが必要である。
- ・教員の中で生活指導に共通理解を持って取り組んでいるという回答が67%であった。昨年度の73%から減少した点は、生活指導部を中心に、今後の教員間での意識を高める必要がある。
- ・地域からの自由意見のほとんどが本校の活動に対しての良い評価や感謝の意見である。一方で、通学におけるルール、交通ルール（特に自転車通学）のマナーに対する苦情は例年同様にあった。生徒へのさらなる注意喚起が必要である。

4. 学校運営連絡協議会の成果と課題

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

昨年度から年間3回開催することができ、本校の現状を伝え、協議委員からアドバイスをいただいた。

○学校をどう良くしていくかという教職員の熱量の大切さについて

○高島高校の魅力を前面に出した生徒募集について

○外部の力を活かした学校経営について等

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかになった課題

協議委員からいただいたアドバイスを校内でどのように具現化していくかが今後の課題である。

5. 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

(1) 学校運営

- ・文武両道を実現させる学校として、学習と部活動との両立に向けて授業改善と部活動推進を二本柱とした学校運営を推進し、知・徳・体においてバランスの取れた生徒を育成するためのプログラムをさらに実施させる。
- ・チーム高島としての教職員の協力体制の充実がさらに必要である。
- ・次年度も広報活動の充実は大きな課題である。

(2) 学習活動

- ・授業公開中の先生方による相互授業参観は一部の教員が実施するなど偏りが見られる。
- ・教員の授業力向上に向けて、研究授業、生徒による授業評価の活用を継続する。

(3) 特別活動

- ・5月より緩和されコロナ禍以前の部活動に近づいているものの、引き続き感染症対策を行いながら活動を工夫し充実させていく。
- ・体育祭、文化祭等の学校行事の全校開催を継続する。

(4) 生徒指導

- ・挨拶を基本とした基本的な生活習慣を徹底、継続させる。
- ・生徒自身の安全を確保するとともに、地域との共生共存を図るために、自転車通学のルール・マナー指導を繰り返し行い徹底させ、次年度のヘルメット着用に向けて準備を進める。

(5) 進路指導

- ・進路指導部主導の計画的な指導をより一層進めていく。特に、昨年度から充実させた模試分析会を通じた各教科の生徒の現状分析及びこのことを受けての改善の取り組みを定着・発展させていく。
- ・探究学習の時間を活用して、各種ガイダンスや出前授業、先輩講話等をさらに充実させ、キャリア教育の推進を図っていく。

(6) 健康・安全

- ・地域の関係機関や講師と連携し、生徒の健全育成・安全教育を目的にした健康講話やセーフティ教室のより充実した取組を推進する。
- ・PTAや校医との連携により、食育指導・歯の健康を推進し、朝食抜きゼロ、未処置歯ゼロを目指す。
- ・生徒に自助の力と共助の精神を育むことを目指して、地域と連携した防災訓練を実施するとともに、年に4回実施する避難訓練についてもより現実的な訓練を実施するこ

とで、防災安全に対する意識を高める。

6. 学校が良くなったと考える協議委員の割合

第3回学校運営連絡協議会での競技委員によるアンケート実施結果について

そう思う	多少そう 思う	どちらと も言えな い	あまりそ う思わな い	そう思わ ない	分からな い	無回答
9						

※9人中9人回答